

2022年度日本演劇学会研究集会『俳優教育の「時」と「場」』プログラム

10月1日(土)	集会1日目	
9:00	受付開始 (江古田校舎北棟1階)	
9:30	スタジオ3 北棟第5実習室	
	開会式 会長挨拶：小菅隼人 (慶應義塾大学) 会場挨拶：藤崎周平 (日本大学) 趣旨説明・総合司会：松山立 (日本大学)	
10:00 }	スタジオ1 北棟第6実習室	スタジオ2 北棟第1実習室
	司会：岸田真 (桜美林大学)	司会：土屋康範 (多摩美術大学)
11:30	発表① デモンストレーション発表 スタニスラフスキーの受容 一竹内敏晴の「身体的行動の方式」をめぐって一 発表者：藤崎周平 (日本大学)	発表② デモンストレーション発表 メキシコにおける俳優教育についての考察 発表者：ジェブラ・ララ・ジャイル・アレハンドロ (日本大学大学院)
60分	ランチタイム	
12:30 }	発表③ デモンストレーション発表 欧米型演技法の適応 一メソッドにおける実践例一 発表者：平井愛子 (京都芸術大学)	発表④ デモンストレーション発表 ジャック・ルコック「7つのレベルのテンション」のエクササイズについての考察 発表者：ジェイスン・アーカリ (玉川大学)
14:00 }	スタジオ1ディスカッション	スタジオ2ディスカッション
14:30	休憩	
14:45 }	スタジオ3 北棟第5実習室 司会：松山立	
15:45	基調講演① スタニスラフスキーを再考する 一俳優教育の観点から一 講演者：永田靖 (大阪大学)	
15分	休憩	
16:00 }	スタジオ3 北棟第5実習室	
18:00	シンポジウム 俳優教育の「時」と「場」 コーディネーター：松山立 パネリスト：池内美奈子 (俳優指導者、演出家)、森一 (俳優座)、田中圭介 (玉川大学) トレーナー：須藤瑞己 (新国立劇場演劇研修所15期生)、池村爽 (文学座附属演劇研究所)	

10月2日(日)	集会2日目			
9:00	受付開始 (江古田校舎A棟入口)			
9:30 }	ルーム1 A-301		ルーム2 A-304	ルーム3 A-302
			司会：藤崎周平 (日本大学)	司会：山下純照 (成城大学)
	発表⑤ 口頭発表 八田元夫によるスタニスラフスキー・システムの俳優教育への受容 発表者：内田健介 (千葉大学)	9:30 }	発表⑥ 口頭発表 ルネサンス期の演劇教育の考察 一俳優と特権階級との関係強化の過程を探る一 発表者：山崎明日香 (日本大学)	9:30 }
	発表者：中島研 (劇団風の子 演出家、国際児童演劇研究所所長) 小林由利子 (明治学院大学) 飛田勘文 (芸術文化観光専門職大学)	10:10 }	発表⑦ デモンストレーション発表 日本におけるスタニスラフスキー・システム受容の変遷についての一考 一1950年代の「エチュード」の実践をヒントに一 発表者：柁井智英 (神戸松蔭女子学院大学)	10:10 }
		10分 }	発表⑧ 口頭発表 ウィーンの劇場の電化と宮廷バレエ 一国際電気博覧会と『人形の精』の間一 発表者：古後奈緒子 (大阪大学)	10:10 }
		10:20 }	発表⑨ 口頭発表 『紙屋町さくらホテル』に見る井上ひさしの天皇観 一「不在の主人」という視点から一 発表者：稲山玲 (専修大学)	10:40 }
		11:50 }	発表⑩ 口頭発表 高校生対象の演劇ワークショップにおける自己イメージの変容に関する検討 一SD法を用いて一 発表者：絹川友梨 (桜美林大学)	11:00 }
		12:20	20分 }	11:40 }
			休憩	司会：井上理恵 (桐朋学園芸術短期大学)
	70分	ランチタイム		
13:30 }	ルーム2 A-304	司会：松山立		
15:00	基調講演② 俳優訓練、俳優養成、俳優教育 講演者：毛利三彌 (成城大学名誉教授)			
15:00～	閉会の辞 林公子 (近畿大学)			
15:30～	理事会 A-304			